

にしっこ 西っ子のみなさんへ 4

4月20日

西小学校のみなさんは、とてもたくさん読書していることを、昨年度行った読書活動の調査を通して知りました。1人あたり1年に150冊の本を図書室から借りているなんて、とてもビックリです。

私も、月に2回ほど家の近くの図書館に行ってお本を借りています。しかし、現在は図書館が閉館中で新しい本が借りられないため、家にある昔読んだ本を読み返したり、子どもたちの持ち物の本を読んでいます。

私は小学生の頃、読書をする習慣がなく、中学2年生の時に、同じ班になった友だちの影響で本を読むようになり、その後はお小遣いで本を買うようにもなりました。

数少ない小学生の時に読んだ本に「百万年後の世界」というSF（推理科学小説）の本があります。この本は冒険小説でもあり、気に入って、何度も読み返しました。主人公が住む町に新型の爆弾が落とされ、町全体が100万年後の地球にタイムスリップするというお話です。興味のある人には読んでほしいけど、古い本なので手に入らないかもしれません。

本を読んでいると「そうなんだ!」と今まで知らなかったことがわかったり、「わくわくドキドキ」次がどうなるか気になってしかたがなかったりと、いろいろなおもしろさがあります。

4月23日は、「子ども読書の日」です。この日は、親子で読書について考えてもらう日なのですが、お気に入りの本を読み返したりして、どんなところが気に入っているかな

どお家の方とお話してみてください。(校長より)



